

主体的に学ぶ(知)		かなり当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない	分からない	令和2年度 1学期末 学校アンケート	
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
1	児童	今まで学習したことや経験したことを使って、自分で考えようとしている。	55.6%	41.7%	2.8%	0.0%	0.0%	
	保護者	お子さんは、学習に対して、今まで学習したことや経験したことを使って、自分で考えようとしている。	15.8%	76.3%	2.6%	0.0%	5.3%	
	評議員	子供たちは、学習の課題に対して、今まで学習したことや経験したことを使って、自分で考えようとしている。	12.5%	75.0%	0.0%	0.0%	12.5%	
	教職員	子供たちは、学習の課題に対して、今まで学習したことや経験したことを使って、自分で考えようとしている。	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
2	児童	自分の考えと比べて友達の発表を聞いて、自分の考えを発表しようとしている。	55.6%	36.1%	8.3%	0.0%	0.0%	
	保護者	お子さんは、自分の考えと比べて友達の発表を聞いて、自分の考えを発表しようとしている。	21.1%	63.2%	7.9%	0.0%	7.9%	
	評議員	子供たちは、自分の考えと比べて友達の発表を聞いて、自分の考えを発表しようとしている。	37.5%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	
	教職員	子供たちは、自分の考えと比べながら友達の発表を聞いて、自分の考えを発表しようとしている。	10.0%	80.0%	10.0%	0.0%	0.0%	
3	児童	学習で「分かった。できるようになった。」ことや学習で楽しみにしていることなどを発表したり、ノートに書いたりしている。	75.0%	19.4%	5.6%	0.0%	0.0%	
	保護者	お子さんは、学習して「分かったこと」「できるようになったこと」や、学習で楽しみにしていることなどを、家庭で話している。	39.5%	44.7%	10.5%	2.6%	2.6%	
	教職員	子供たちは、学習で「分かった。できるようになった。」ことや、学習で楽しみにしていることなどを、発表したりノートに書いたりしている。	0.0%	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	
4	児童	先生は、自分で考えたり話し合ったりすることができるように、学習の掲示や授業で使うものを工夫したり、困ったときに助けたりしてくれる。	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	保護者	教職員は、子供の興味・関心を高めたり、生活場面を意識したりした授業を工夫している。	47.4%	42.1%	5.3%	0.0%	5.3%	
	評議員	教職員は、子供の興味・関心を高めたり、生活場面を意識したりした授業を工夫している。	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	
	教職員	自分は、子供たちがゴールイメージをもてるような単元構想づくりや課題設定を行ったり、振り返りの内容が充実するよう支援をしたりした。	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	教職員	自分は、子供たちの話し合いが深まり、考えが広がるように、話し合いの目的を明確にしたり、出番を考えて適切な支援をしたりした。	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
5	児童	家の人は、本読みを聞いたり、宿題で困ったときに助けたりするなど、家庭での勉強を見てくれる。	77.8%	16.7%	0.0%	5.6%	0.0%	
	保護者	家庭では、本読みを聞いたり、宿題に取り組む様子を見たりするなど、家庭学習ができるように、子供に促している。	26.3%	60.5%	7.9%	0.0%	5.3%	
	教職員	家庭では、本読みを聞いたり、宿題で困ったときに助けたりするなど、家庭学習ができるように、子供に促している。	0.0%	80.0%	10.0%	0.0%	0.0%	
考察(知)	<p>○「今まで学習したことや経験したことを使って、自分で考える」については、昨年度2学期末の結果と同様、児童・保護者ともに高い評価(「かなり当てはまる」「まあ当てはまる」を合わせて90%以上)であった。また、「先生は、自分で考えたり話し合ったりすることができるように、学習の掲示や授業で使うものを工夫したり、困ったときに助けたりしてくれる」の項目では、100%の児童が「かなり当てはまる」「まあ当てはまる」と評価している。今年度は、カリキュラムマネジメントにより「学びのつながり」を意識した学習展開を心掛けている。学校が力を入れて取り組んでいる「教えられるのではなく、未知の状況にも既存の知識や経験で対応できる力」が成果に結び付いている。</p> <p>一方、「自分の考えと比べて友達の発表を聞き、自分の考えを発表している」の項目において、1～2割の児童・保護者が「あまり当てはまらない」「分からない」と評価していることから、目的をもった話し合いが、子供の姿として十分に表れていないと考える。今後も「何のために学ぶのか」「何のための話し合いか」を子供たちと共有したり、「話し合うことって楽しいな」と実感できるような支援(助言、意見の整理、子供の考えの価値付け)をしたりして、子供たちが満足できる学習にしていきたい。</p> <p>○約95%の児童が、学習で「分かった。できるようになった。」ことや学習で楽しみにしていることなどを発表したりノートに書いたりしている。新学習指導要領で求められている資質・能力の三つの柱の一つ「学びに向かう力・人間性等」を付けていくために、学校では、「学習の最後に、学んだことや学んだことの意味、自分の成長、友達のよさなどを振り返る」ことを大切にしている。学習のまとめだけでなく「自分の成長、疑問、こんなこともしたい。」などをノートに書いたり発表したりすることで、今後も振り返りの内容の充実を図っていききたい。保護者の皆様には、ぜひ、日常的に子供のノートの「振り返り」の部分に目を通していただければと思う。</p> <p>○85%以上の保護者の皆様は、本読みを聞いたり、宿題で困ったときに助けたりするなど、家庭学習の習慣が身に付くように子供に促して下さっている。1学期は24日間を家庭で過ごすこととなり、お子さんの学習の様子をじっくりと見るきっかけとなったかと思われる。家庭学習は「基礎づくり(ドリル)」と「学習の楽しさを伸ばす(自学)」場であると考え。低学年で学習の仕方をきちんと身に付けさせ、高学年では、学習の興味を広げて取り組ませたり、計画的に得手不得手を克服したりできるように、学年や学習教科に合わせて、家庭学習の出し方を工夫していきたい。</p>							

自分らしく輝く(徳)		かなり当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない	わからない	令和2年度 1学期末 学校アンケート	
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
6	児童	自分や友達のよいところや頑張っていることを見付け、きらっとカードに書いたり発表したりしている。	55.6%	36.1%	8.3%	0.0%	0.0%	
	保護者	お子さんは、自分や友達のよいところや頑張っていることを、家庭で話している。	23.7%	63.2%	5.3%	5.3%	5.3%	
	評議員	子供たちは、自分や友達のよいところや頑張っていることを認め合っている。	12.5%	62.5%	0.0%	0.0%	25.0%	
	教職員	子供たちは、自分や友達のよいところ・頑張っていることを見付け、書いたり発表したりしている。	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
7	児童	学習や遊びなどの場で、進んで友達と関わっている。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	保護者	お子さんは、学習や遊びなどの場で、進んで友達と関わろうとしている。	44.7%	42.1%	7.9%	0.0%	5.3%	
	評議員	子供たちは、学習や遊びなどの場で、進んで友達と関わろうとしている。	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	
	教職員	子供たちは、学習や遊びなどの場で、進んで友達と関わろうとしている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
8	児童	自分の生活をよりよくしようと、生活を見直したり、明日葉カードの目標にして粘り強く取り組んだりしている。	66.7%	27.8%	5.6%	0.0%	0.0%	
	保護者	お子さんは、自分の生活をよりよくしようと、生活を見直したり、目標に向かって粘り強く取り組んだりしている。	15.8%	63.2%	18.4%	0.0%	2.6%	
	教職員	自分は、子供たちの生活をよりよくしようと自己を振り返る場を大切にしたり、目標に向かって粘り強く取り組むことができるように励まし支援したりしている。	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
9	児童	先生は、できること・得意なことが増えるように励ましたり、頑張ったことやよい行いを認め褒めたりしている。	86.1%	13.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
	保護者	教職員は、子供たちができること・得意なことを増やし、自分のよさを見付けられるように、励まし支援している。また、よいところを認め褒めている。	50.0%	44.7%	0.0%	0.0%	5.3%	
	評議員	教職員は、子供たちができること・得意なことを増やし、自分のよさを見付けられるように、励まし支援している。また、よいところを認め褒めている。	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	
	教職員	自分は、子供たちができること・得意なことを増やし、自分のよさを見付けられるように、励ましたり支援したりしている。また、きらっとカードを活用して、よいところを認め褒めている。	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	
10	児童	家の人は、できること・得意なことが増えるように励ましたり、頑張ったことやよい行いを認め褒めたりしている。	83.3%	11.1%	2.8%	2.8%	0.0%	
	保護者	家庭では、お子さんができること・得意なことを増やし、自分のよさを見付けられるように、励まし支援している。また、よいところを認め褒めている。	23.7%	68.4%	2.6%	2.6%	2.6%	
	教職員	家庭では、子供たちのできること・得意なことが増えるように、励ましたり支援したりしている。また、子供たちのよいところを認め褒めている。	0.0%	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%	
11	児童	自分のことが、好きである。	58.3%	36.1%	2.8%	2.8%	0.0%	
考察(徳)	<p>○昨年度80%程度の児童評価だった「自分や友達のよいところや頑張っていることを見付け、きらっとカードに書いたり発表したりしている」の項目が、今回90%を超える高い評価(「かなり当てはまる」「まあ当てはまる」となった。今年度、月に一回「ほめほめウイーク」を設定し、他学年の子供たちのよさも見付けられるように声掛けをしてきた結果かと思われる。「先生は、できること・得意なことが増えるように励ましたり、頑張ったことやよい行いを認め褒めたりしている」の項目に置いて、100%の児童が「当てはまる」と評価していることが、大変うれしい。引き続き、教師も児童のよい表れを見付けきらっとカードに書いて渡したり、放送で紹介したりすることで、子供たちが自分に自信をもち「自分らしく輝く子」を目指していきたい。</p> <p>○新型コロナウイルス感染防止のため、かがやきランチや縦割り遊びが実施できなかったにも関わらず、今回100%の児童が、「学習や遊びなどの場で、進んで友達と関わっている」と評価した。これは、昼休みに6年生がミニチャレンジ運動を企画し、友達と楽しく関わる場を提供してくれたからだと考える。運動場での自由遊びの様子を見ても、いろんな学年が入り交じり、思い思いの遊びを楽しんでいるように感じる。今後も小規模校のよさをより発揮できるように、意図的に多くの友達と関わる活動を実施していきたい。</p> <p>○「自分の生活をよりよくしようと、生活を見直したり、明日葉カードの目標にして粘り強く取り組んだりしている」については、90%以上の児童が「当てはまる」と評価している一方、保護者の評価は80%に届いていない。保護者の皆様から伺って作成した「輝き一覧」を生かし、よい表れや頑張りへの声掛け・価値付けをしていくとともに、便りや本読みカード、連絡帳等を通して家庭へも伝えたい。</p> <p>○「自分のことが好き」の項目については約95%の児童が「当てはまる」と評価している。保護者の皆様、教職員が「励ましたり認めたり」していくことで、子供たちが自信をもって「自分のことが好き」と答えているのではないかと考える。今後も「褒める」を学校・家庭で共有することで、児童の自己肯定感を高め、「自分らしく輝く」子供たちを育てていきたい。</p>							

健やかな心・体をつくる(体)		かなり当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	てはまらない	ほとんど当てはまらない	分らない	令和2年度 1学期末 学校アンケート
12	児童	毎月の生活のめあてを意識して、自分から進んで挨拶している。	86.1%	11.1%	2.8%	0.0%	0.0%	
	保護者	お子さんは、自分から進んで挨拶している。	44.7%	47.4%	7.9%	0.0%	0.0%	
	評議員	子供たちは、自分から進んで挨拶している。	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	
	教職員	子供たちは、毎月の生活のめあてを意識して、自分から進んで挨拶している。	25.0%	66.7%	8.3%	0.0%	0.0%	
13	児童	笑顔で、元気に生活している。	83.3%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	
	保護者	お子さんは、笑顔で元気に学校生活を送っている。	52.6%	39.5%	7.9%	0.0%	0.0%	
	評議員	子供たちは、笑顔で元気に学校生活を送っている。	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	12.5%	
	教職員	子供たちは、笑顔で、元気に生活している。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
14	児童	体育の授業や昼休みには、体を動かすことを楽しんだり、自分の目標をもって運動したりしている。	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	保護者	お子さんは、体を動かすことを楽しみ、目標をもって運動に取り組んでいる。	60.5%	28.9%	10.5%	0.0%	0.0%	
	評議員	子供たちは、体を動かすことを楽しみ、進んで運動に取り組んでいる。	37.5%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	
	教職員	子供たちは、体育の授業や昼休みには、体を動かすことを楽しんだり、自分の目標をもって運動したりしている。	30.0%	50.0%	10.0%	0.0%	10.0%	
15	児童	毎日、早寝・早起きをしたり、朝食を欠かさず食べたりしている。また、メディアについての約束を守って生活している。	52.8%	38.9%	5.6%	2.8%	0.0%	
	保護者	家庭では、早寝・早起きを呼び掛けたり、朝食を食べさせたりしている。また、メディアについての約束事を守らせている。	31.6%	55.3%	13.2%	0.0%	0.0%	
	教職員	子供たちは、毎日、早寝・早起きをしたり、朝食を欠かさず食べたりしている。また、メディアについての約束を守って生活している。	10.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	
考察(体)	<p>○「自分から進んで挨拶している」については、児童・保護者ともに90%を超える高い評価(「かなり当てはまる」「まあ当てはまる」となった。昨年度と比較すると、「かなり当てはまる」児童の評価が20%近く上がっている。挨拶カードを自己評価と他者評価ができるように形を変えたり、児童昇降口の掲示板を活用して、挨拶の頑張りの「見える化」に取り組んだりすることで、子供たちの挨拶への意識が高まったと考える。また、高学年が率先して挨拶をすることで、よりよい環境をつくり出していたこともよい結果へ結び付いた要因であろう。</p> <p>挨拶は子供たちの心と体の健康状態を知る一つのバロメーターでもある。気持ちのよい挨拶の声が響く学校となるように、また、「笑顔で、元気に生活している」の項目が100%になるように、職員が率先して子供たち一人一人に挨拶の声を掛けていきたい。</p> <p>○「体を動かすことを楽しみ、目標をもって運動する」については、100%の児童が「当てはまる」と評価している。1学期は授業時間確保のための日課変更により、昼活動のチャレンジ運動を実施することができなかった。その代わりに、体育委員会が昼休みのミニチャレンジ運動を企画することで、子供たちが自由に参加し楽しむ様子が見られた。ミニチャレンジ運動で、いろいろな長縄跳びにチャレンジしたり、異学年とドッジボールを楽しんだりすることができた結果だと考える。</p> <p>今後は、子供たちが「目標をもって、運動する」ことができるように、体育の時間には、運動の特性を踏まえたセット運動を取り入れ、運動量を充実させていきたい。</p> <p>○「規則正しい生活習慣をつくる」に関わる項目の評価については、児童の「かなり当てはまる」「まあ当てはまる」への評価が90%を超えた点で、昨年度よりやや向上しているが、高学年になると、メディアに係る時間が増える傾向は相変わらず課題として挙げられる。コロナによる休校によりゲーム時間が増え、学校が再開されてもそこから脱却できない児童も見られ心配される。メディアとのよりよい付き合いができるように、メディアの日やすこやかチェックカードを活用しながら、個へ対応することで、生活リズムが安定するように促していきたい。</p>							

学校運営・学校体制・PTA

令和2年度 1学期末 学校アンケート

		かなり当てはまる	まあ当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない	分からない	
16	保護者	34.0%	57.9%	2.6%	0.0%	5.3%	
	教職員	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
17	保護者	50.0%	44.7%	0.0%	0.0%	5.3%	
	評議員	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	教職員	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
18	保護者	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
	評議員	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	教職員	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
19	児童	86.1%	13.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
	保護者	52.6%	34.2%	5.3%	0.0%	7.9%	
	評議員	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	
	教職員	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	
20	児童	88.9%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	
	教職員	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	
21	保護者	7.9%	65.8%	21.1%	5.3%	0.0%	

考察

○「学校は、子供のことにについて相談がしやすい」の項目で、90%以上の保護者評価を得た。新型コロナウイルスの影響で今までとは違う新しい学校生活のスタイルを求められた中、学校と家庭が思いを共有できたと思えている。

○「学校は、子供の安全確保のための取組を十分行っている」の項目においては、「かなり当てはまる」「まあ当てはまる」を合わせて100%の評価をいただいた。今後も子供の安全を第一に考え、対策をとっていききたい。新型コロナウイルス感染拡大防止のための学校の取組にも御理解いただき、また、日々の子供たちの体温チェックにも御協力いただき、保護者の皆様には大変感謝している。

○午前中5時間授業については、100%の子供たちがよいと評価している。その理由として挙げられるのは、「午前中に集中して学習できるので、午後が気楽である。」「放課後の時間が多くなり、自分の時間がもてる。」「昼休みの時間が長くて楽しい。」などである。今回、午前中5時間授業だからこそ、学びの保障となる7時間目の授業時間確保ができたが、昼休みの35分間に努めたことも高い評価につながったと考える。西気賀小だからできる午前中5時間授業が定着してきているので、今後も小規模校のよさを生かした教育活動を模索していきたい。

○PTA活動テーマ「親子で運動を楽しもう」については、今年度はPTA総会、4・6月の懇談会がなかったため、各家庭への浸透が難しかった。コロナによる自粛生活で家族で過ごす時間も増えていると思うので、「家トレ」なるものに親子で取り組んでみるのもよいと思う。